

ファイナル・レポート

ケルン国際ハードウェアメッセ2012

会期:2012年3月4日(日)~7日(水)

会場:ドイツ連邦共和国 ケルンメッセ会場

ハードウェアメッセは素晴らしい成果を上げ閉幕

- ・ 出展者、バイヤー、専門ビジターによる活発な取引を報告
- ・ 国際色豊かで質の高い専門ビジターの来場
- ・ 新技術・新製品の紹介、および受賞者の発表

高度な新技術、豊かな国際性、受注の増加、出展者・ビジターの高い満足度:

4日間の会期を終え、第38回ケルン国際ハードウェアメッセは、全般的な成功を収めて幕を閉じました。132カ国から約53,500人の専門ビジターが来場し、ハードウェア分野における新技術やトレンドに関する情報を収集し、直接展示会サイトで取引を行いました。50カ国から2,665社のサプライヤーが参加したケルン国際ハードウェアメッセは、今回もまた、ハードウェア分野における世界最大級のビジネスと新技術紹介の場となりました。コアな専門技術および技能への集中、新ブランドの発表、新たな見本市の形態や魅力的なプログラムの提供により、ケルン国際ハードウェアメッセ2012の出展者と専門ビジターの双方に、高い満足感をもたらしました。

ケルン国際ハードウェアメッセ2012では、増加傾向にある昨年の各産業分野の販売動向と、市場および業界の集中化とが相まって、出展企業の受注量の増加となって現れました。トレンドを生む多くの新技術を来場者に紹介した企業からは、「盛況でした」という感想が寄せられています。専門分野に特化した世界有数の販売会社がドイツ国内外から集まり、ロウズ社(米国)のような国際的な大手バイヤーグループも参加しました。エキジビションセンターで同時開催されたUSETECとの初の協力により、新たなビジネスの推進力がもたらされました。また、ドイツ国内外から集まった専門ビジターの質の高さについても、高く評価されました。

ケルンメッセ副社長のカタリーナ・C・ハマは、今回の見本市を、満足のいく結果だったと評価しました。「132カ国から専門ビジターが来場したケルン国際ハードウェアメッセは、今回もまた、先導的な役割を果たす、極めて国際的なイベントとなりました。専門ビジターの質の高さと、業界バイヤーの多さがこの見本市の成功を物語っています。出展者による素晴らしい新技術や新製品の紹介は、展示ホールでのハードウェア会社間のビジネスも促進しました。今回の見本市における取引の成功は、出展者とビジターの双方から報告されています。ケルンメッセでは、この成果を基に前進し、最先端の市場志向型見本市へとさらなる発展を遂げるため、パートナーの団体と協力していきます」と述べました。ハードウェアメッセ諮問委員会の委員長であり、ヴィッテ社のマネー

ジングパートナーでもあるJ・ヴォルフガング・キルヒホッフ氏は、「今年は、すべての主要なパートナーとお客様をブースにお迎えすることができました。また、新規のお客様、特に南米や中近東からの引合いもありました。我々にとって、今回の見本市は、あらゆる点で完全な成功を収めました。『EISEN』イノベーション賞が成功に大きく貢献したことは明らかであり、特に、この見本市の重要性を再認識させるものでした。今年、ケルンメッセが取り入れた新しいコンセプトは、大成功だったと言えます」と述べています。ドイツ工具産業協会(FWI)の専務理事であるライナー・ランゲリュデッケ氏は、「ケルンメッセは、この見本市を魅力的な新しいプレゼンテーションで開催することに成功しました。これに関連しては、『ケルン国際ハードウェアメッセ』ブランドの持つプラスのイメージを保持しつつ、新たな開放的姿勢が重要となります。ドイツ国外からのサプライヤーが8割を占めていることから、この見本市の際立った国際性は、大きな特色です。この見本市がいかに高く位置付けられているかは、ケルンで4日間製品を展示し商談するために、多くの出展者が何千キロもの距離を移動しているという事実からも明白です。ケルンが業界にとって不可欠な場であることは、『EISEN』イノベーション賞の発表によっても裏付けられています。ここで受賞した製品は、たとえば言えば、賞に見合った価値があります。FWIは、一団体として、今後、ケルンメッセと協力し、今あるコンセプトをさらに拡大し、他の新たなビジネス分野においてもコンセプトが実現できるよう、取り組んでいきます」と述べました。ハードウェア販売業中央連盟(ZHH)のトーマス・ダンマン会長は、「今年は、本分野の革新性が特に印象的に実証されました。これを象徴するものである、『EISEN』イノベーション賞および賞に関連した多くの新製品は、分野外からの参加者も目にすることができます。また、新技術や新製品紹介の場として、この見本市が再び活発に利用されるようになってきているという明るい兆しもあります。結果として、ケルン国際ハードウェアメッセを訪れることにより、業界専門家は、既存取扱製品の市場概要を把握できるだけでなく、魅力的な新製品や新技術に触れることができます」と語りました。ドイツDIY・ホームセンター・ガーデニングセンター連盟(BHB)のDr.ペーター・ヴェルスト専務理事は、「ケルン国際ハードウェアメッセは、新たな、集中した形態での2回目の会期を迎えました。過去および現在のコアな取扱製品、すなわち『ハードウェア』のテーマに関連した製品に焦点を当ててきましたが、今またマーケティングのコンセプトは一新され、本見本市において様々な方法で実施されました。USETEC等の新たな展示会との同時開催によりイベントが拡大したことで、様々な分野のビジターに対する吸引力が増し、開催中の取引と需要の増加につながっています。販売会社や小売業者は、主要な製品グループを包括的に展示する場として、この見本市を必要としています。このトレンドは、続けていかなければなりません。取扱製品に強く反映される『ハードウェア見本市』への道のりは、いまだにゴールから遠く離れています。次回のイベントに向けて取扱製品をさらに発展させていくため、私たちは協力する必要があります。協力することによって、ドイツ国内外のバイヤーにとって魅力ある存在であり続けることができるのです」と述べました。

11.3%の売上増加

ドイツ工具産業協会(FWI)は、会員企業による2011年の総売上高が11.3%増の約38億ユーロで

あったと報告しました。また、ドイツDIY・ホームセンター・ガーデニングセンター連盟(BHB)の報告によると、過去1年の最終成長率は全体で1.5%でした。DIYおよびホームセンター市場の総売上高は、187億ユーロでした。同様の数値がハードウェア販売業中央連盟(ZHH)からも報告されています。ハードウェアおよび家庭用品小売業の2011年成長率は、約3.5%となる見込みです。法人エンドユーザー向けの企業間取引(B2B)分野における2011年成長率は、6~9%でした。ドイツホーム&ガーデン製造業者協会は、全体で3.5%の成長を報告しています。より詳しい情報は、こちらをご覧ください。

新技術・新製品、「EISEN」賞受賞技術・製品

ケルン国際ハードウェアメッセにおける主なトレンドのテーマは、デジタル高精度、高品質、エルゴノミクス、サステナビリティです。2,665社の出展者が将来新たな売り上げに貢献する有望な新製品と新技術をケルンで展示しました。優秀な新技術の中でも最も優秀な技術に、イノベーションおよびサステナビリティの分野においては初となる「EISEN 2012」賞が授与されました(INTERNATIONALE EISENWARENMESSE KÖLN | The Fair | Events | Eisen 2012)。ケルンメッセとZHH共催の「EISEN 2012」イノベーション賞は、ゲドレー・ツール・センター社、クニペックス社、ロディウス社の各社に授与されました。BHBとともに授与した「EISEN」サステナビリティ賞では、総合的なコンセプトが評価され、ウルフクラフト社およびディアガー社が専門家からなる審査員によって選ばれました。

専門家のためのプログラム

ビジネスの場を提供し新技術を展示しただけでなく、ケルン国際ハードウェアメッセは、今年もまた、あらゆる対象グループにとって、付加価値の高い魅力的なプログラムを提供しました。ロウズ社、メナーズ社(いずれも米国)、ユーロメイト・ドイツ社、ホーンバッハ社、アデオグループなどの国際的なバイヤーグループは、「プレジデント・カウンスル」の枠内において、今回で3回目となる取引を行いました。これらの企業は、来場者と直接対話することで、製品の新たな技術を紹介し、顧客とサプライヤーの関係を築く機会に恵まれました。ケルンメッセとDIYインターナショナル共催のDIYストアツアー、BHBフォーラムおよび授賞式は今年も好評でした。ハードウェアラウンジ・ステージ上で行われた材料管理購入口ジスティックス協会の「バイヤーズデイ」プログラムは、「ベストオブチャイナ」という形態で行われた特別ショーと同様に人気を博しました。プログラムは、将来有望な若い人材にこの分野の多様性に対する見識を深めてもらうための「トレイニーズデイ」で最後を締めくくりました。

次回のケルン国際ハードウェアメッセ2014は、2014年3月9日から12日まで開催されます。

詳しい情報と参加者の感想は、以下のサイトをご覧ください。

www.eisenwarenmesse.com

ケルン国際ハードウェアメッセ2012に関する数値

参加者に関する情報:ケルン国際ハードウェアメッセ2012には、50カ国(2010年:52カ国)から2,665社(2010年:2,686社)が参加しました。

出展者の85%がドイツ国外の企業でした。最終日の概算も含めると、ケルン国際ハードウェアメッセ2012には、132カ国(2010年:124カ国)から53,500人(2010年:56,500人)の専門ビジターが来場し、うち61%(2010年:59%)はドイツ国外からの来場者でした。

ケルンメッセに関するお問い合わせは下記までどうぞ。

ケルンメッセ株式会社

〒105-0013 東京都渋谷区恵比寿1-13-6 恵比寿ISビル5F

TEL:03-5793-7770 FAX:03-5793-7771

E-Mail:kmjpn@koelnmesse.jp <http://www.koelnmesse.jp>